

3 宜野座村のめざす姿と4つの基本目標

(1) めざす姿と基本目標

1) 宜野座村のめざす姿

本村の持続的なむらづくりにむけて、村の持つ魅力や地域性、本村ならではの暮らしやすさなど、前期の総合戦略の実現で掲げためざす姿を引き続き踏襲します。

■宜野座村のめざす姿

『みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら』

～ 未来にチャレンジする 宜野座村 ～

上記の言葉は、以下の意味合いを持っています。

「笑顔」：幸せの象徴であり、しごと・子育て・住まい・むらづくり等が充実し、村民みんなが健康で文化的に暮らし、太陽（ティード）のように生き生きと輝いている姿です。

「世代」「つながる」：各地域における子どもから高齢者まで様々な世代が暮らす地域社会（コミュニティ）のみんなで支え合い、人口減少時代や地域課題に解決していく姿です。また、未来を担う子どもや孫に大きな社会負担を先送りせずに、「望ましいわがむら」を次の世代につないでいく姿です。

「未来にチャレンジ」：明るい将来にむかって挑戦し、みんなで実現するむらづくりを進めます。

2) 4つの基本目標と基本方向、目標指標

本村の人口ビジョン（改訂版）や前述のめざす姿像等を踏まえるとともに、第1期総合戦略の内容を基本的に継続しつつ、新たな時代の流れ等も取り入れながら、4つの基本目標と基本方向、目標指標を設定します。

基本目標 1

むらの特性を活かした「しごと・活動の場」づくり

～産業振興と魅力ある雇用の創出～

若者・女性・子育て世代・高齢者など、多様な村民一人ひとりがいきいきと輝く「しごと・活動の場」、チャレンジの創出に取り組みます。

【基本的な方向】

宜野座村 IT オペレーションパーク、道の駅ぎのぞ及び海洋型健康増進施設等の立地条件を活かした企業誘致の推進や既存施設の利活用、宜野座村商工会と連携した起業・創業しやすい環境づくり等の商工業の振興を図ります。

基盤産業である農水産業のひとづくりや経営基盤の充実をはじめ、有機の里で生産される農水産物を活かしたブランド化や地産地消を推進するとともに、新商品開発、販路拡大、6次産業化を進め、農水産業を活かした稼ぐ力の強化を図ります。また、デジタルデバイスやIoTを活用したスマート化を推進します。

夢や目標にむかって多様な人材が活動・活躍できるよう、次代を担う若者等のチャレンジを誘発するとともに、産学官連携による地域課題の解決につながるむらづくりや暮らしに密着した地域のなかで地域住民が自主的に取り組むチャレンジの場づくりを進めます。また、女性や高齢者、障がい者等の多様な主体が活躍できる環境の創出を推進します。

目標指標			
項目	現状値 (平成28年)	目標値 (令和7年)	備考
村内事業所従業者数 (公務を除く)	1,550人	1,600人	・経済センサスによる従業者数

基本目標 2

豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる環境づくり
～ブランド力の向上による交流・観光の推進と定住の促進～

村民の愛着と誇りを高め、宜野座村の魅力をみんなで磨き、県内外に情報発信し、「ひとの流れ」を受け入れる環境づくりに取り組みます。

【基本的な方向】

「宜野座村」のブランド力（イメージ・知名度）を向上するため、村民の愛着と誇りを高めるとともに、本村の豊かな自然環境や伝統文化、食、観光資源、特産品、産業等の地域資源の付加価値を高め、県内外に情報を発信するなど、本村の魅力を発信するプロモーションを推進します。

宜野座村に行きたい、宜野座村のものを買いたいと思えるよう、宜野座村の特性を活かした交流・観光施設基盤の充実や体験・交流の推進、特産品等の開発・PR活動により、他地域との差別化や宜野座村の魅力を活かした交流・観光を推進します。

宜野座村に住みたい、住み続けたいと思えるよう、移住希望者と地域住民の情報をつなぎ、住宅情報を発信するとともに、村出身者をはじめ、地域の担い手となる若年層の確保やむらづくりに力を発揮できる高齢者層など、各層にむけて安心・安全な住みやすいむらづくりを進めます。

目 標 指 標			
項 目	現状値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	備 考
村政に「関心を持っている」村民の割合	89.9%	95.0%	・宜野座村まちひとしごと創生総合戦略で村民アンケートを実施。「多少関心を持っている」(49.3%)と「非常に関心を持っている」(40.6%)をあわせた割合。現状維持(社会増)を目指す。
村全体の観光入込客数	125万人/年 (令和元年)	130万人/年	
社会人口の増加	48人/年	49人/年	・人口移動報告年報(沖縄県)より。転入者(303人)＞転出者(255人)で社会増。現状維持(社会増)以上を目指す。

基本目標 3

結婚、妊娠、出産の希望をかなえ、安心して子育てができる環境づくり
 ～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

結婚・妊娠・出産の希望をかなえ、子どもの健やかな成長を誰もが喜び、安心して子育てができる「環境」づくりに取り組みます。

【基本的な方向】

「宜野座村で子育てがしたい」と若い世代に選ばれるむらづくりのため、若い世代が結婚、妊娠・出産、子育てに希望が持てるよう、各段階に応じた切れ目のない対策を進めます。

民間の団体等が行う未婚者を対象とした交流や出会いづくりに関する情報を発信するなど、結婚に結びつく支援を行います。

妊娠・出産・育児などに対する不安を軽減するための相談に応じるとともに、子どもの医療費助成事業や乳幼児の訪問指導の推進など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

子育て家庭が、楽しくゆとりを感じながら子育てができるよう、多様化する子育てニーズに対応した就学前教育・保育及び子育て支援サービスの充実を図ります。加えて地域との協働による児童の健全育成、仕事と子育ての両立支援に取り組むなど、子どもと子育て家庭を支援する地域づくりを進めます。

次代の社会で活躍できる子どもの育成を図るため、生きる力の基礎となる確かな学力の向上や魅力ある学校づくりを進めるとともに、高校・大学の進学にむけた学習支援など、子どもの成長を育む教育環境の整備を図ります。

目 標 指 標			
項 目	現状値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	備 考
合計特殊出生率	2.29 2013年～2017年(平成25年～平成29年)	2.35	・「沖縄県人口増加計画(改訂版)」による設定値(2035年2.31→2050年2.43→2055年2.50)と段階的に上昇したと仮定した令和7年の数値を目指す。
待機児童数	0人/年	0人/年	・4月時点で待機児童数はほぼゼロであるが、時期によっては待機状況もみられることから、今後とも、待機児童数ゼロを目指す。

基本目標 4

活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくり
 ～誰もが健康で地域で活躍し、安心して暮らすことのできる魅力のある地域づくり～

村民一人ひとりが健康で暮らしやすさを感じ、子どもや孫等の明るい未来のため、時代にあった地域をデザインし、未来に責任を持ち主体的に活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくりに取り組みます。

【基本的な方向】

村民の誰もが健康で自立した暮らしを営み、地域で活躍できる社会を目指し、世代を超えて身体活動・運動や食事等による健康づくりに取り組むとともに、地域への愛着と誇りを抱きながら未来に責任を持ち、自分事としてこれからの地域づくりを担う人材を育成します。

本村の超高齢化等による地域社会の変化などにより生じる地域課題に対応するため、本村の基盤となる地域コミュニティ（行政区）への支援や協働のむらづくりを推進します。

自然災害等にも強い地域を支える基盤づくりや村民の誰もが暮らしやすい生活関連サービス施設の利便性の向上など、「住んで良かった」と感じられる「暮らしやすさ」を追及します。また、自治体自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進による効率的な行政運営を推進するとともに、地域課題に応じた近隣自治体や沖縄本島の北部地域、友好都市等において、共同イベントの開催や交通・産業等の政策連携等、広域連携による暮らしや魅力の向上を図り、時代にあった地域デザインを構築します。

目 標 指 標			
項 目	現状値 (令和2年)	目標値 (令和7年)	備 考
65 歳以上の高齢者が要介護認定を受けている割合	16.8% (246 人/1,468 人)	17.6% (273 人/1,549 人)	・要介護認定者数の増加を抑制する。 ・「くがにプラン 2021 (第9期宜野座村高齢者保健福祉計画)」より (認定者数(要支援1～要介護5) / 第1号被保険者数)
自主防災組織の立ち上げ	1 (令和3年度)	6	・6行政区全てを目指す。
「住み続けたい」と思う村民の割合	77.2%	80.0%	・宜野座村まちひとしごと創生総合戦略で村民アンケートを実施。 ・現状維持以上で8割以上を目指す。

(2) 施策の体系

<宜野座村のめざす姿>

『みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら』

～ 未来にチャレンジする 宜野座村 ～

基本目標	基本的方向	具体的な施策
【基本目標1】 むらの特性を活かした「しごと・活動の場」づくり ～産業振興と魅力ある雇用の創出～	1 新たな「しごと」の創出	(1) 新たな企業誘致及び施設の機能強化 (2) 商工業の振興 (3) 農水産業を活かした稼ぐ力の強化
	2 「チャレンジ」の創出	(1) 多様なチャレンジの創出支援 (2) チャレンジの場づくり
【基本目標2】 豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる環境づくり ～ブランド力の向上による交流・観光の推進と定住の促進～	1 プロモーションの推進	(1) ブランディング(地域ブランド化)と効果的な情報発信 (2) 地域への愛着・郷土愛(地域意識)の向上
	2 交流・観光の推進	(1) 交流観光施設基盤の充実 (2) 体験・交流(着地型観光)の推進 (3) ふるさと納税制度の活用
	3 定住の推進	(1) 定住の推進 (2) 既存住宅の活用等による住環境の整備
【基本目標3】 結婚、妊娠、出産の希望をかなえ、安心して子育てが出来る環境づくり ～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～	1 結婚につながる支援の充実	(1) 出会いの場づくりと結婚支援
	2 妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり	(1) 安心して妊娠・出産を迎える環境づくり (2) 子どもの健やかな育ちへの支援
	3 子育て家庭を支援する地域づくり	(1) 就学前教育・保育の充実 (2) 子育て世代の経済的負担の軽減 (3) 地域と協働による児童の健全育成 (4) 仕事と家庭の両立支援
	4 子どもの成長を育む教育環境の充実	(1) 豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進 (2) 子どものキャリアデザイン・ライフデザインの推進 (3) 高校・大学の進学にむけた学習支援
【基本目標4】 活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくり ～誰もが健康で地域で活躍し、安心して暮らすことのできる魅力のある地域づくり～	1 地域づくりの「担い手」育成	(1) 活動するひとづくり (2) 心身ともに健康なむらづくり
	2 地域社会の基盤強化	(1) 地域コミュニティの支援と協働のむらづくり
	3 時代にあった地域デザインの構築	(1) 暮らしやすさの追求 (2) 行政の効率化及び広域連携の推進

【横断的な視点②】
新しい時代の流れを力にする

【横断的な視点①】
多様な人材の活躍を推進する